

# 紙上座談会

## 教育と地域社会 ロータリークラブの役割

国際ロータリー第2840地区

群馬県全域をエリアとし、傘下に46ロータリークラブをもつ。会社経営者、医師、弁護士、僧侶、会計士、薬剤師など約2500人の会員を擁する。

21世紀になっても経済に展望が開けないと同様に、教育分野の現実は厳しい。学校や家庭そして地域は、子供たちをとりまく環境も好転しているとは言い難い。学校で幅広い奉仕活動を開催している国際ロータリー第2840地区は「青少年の健全育成」を活動スローガンの一つに掲げて、教育問題に積極的な取り組みを行っている。今年4月から「学校完全週5日制」になるなど、いわゆる教育改革がスタートするのに合わせ、高井健二県教育長と今井健介県教育委員長を囲んで同地区のガバナーら幹部会員が意見をかわした。

(司会 上毛新聞社取締役編集主幹・小田桐睦雄)

—4月から「学校完全週5日制」になり、学習内容も大幅に変わります。「改革元年」ともいえる節目の年ですが、どう、受け止めていますか。

高井 そのめざしているところは、自己の確立と共生といった、「生きの力」を持った人間に子供たちを育てるこ

と生活し、自ら進んで学び、物事を深くみつめ、自分の言葉で考え方行動する力を養いたい。現在の社会状況、教育を巡る環境面からみても、難しい課題です。学校や家庭や地域の在り方、人々の生き方まで問われていると思います。



国際ロータリー第2840地区  
2001-2002年度ガバナー

清 司氏

きよし・あきづく 曹洞宗七興山宗永寺住職。(株)国際ユニック代表取締役。社会福祉法人梅檀双葉会理事長。藤岡ロータリークラブ所属。67歳。



県教育長 高井 健二氏

たかい・けんじ 1968年群馬県庁入庁。新里村助役、県企画部企画課長、総務部財政課長、企画部長を歴任。2000年4月1日から現職。59歳。

す。不幸にして2人亡くなりましたが、1人は救助されました。「生き抜く力」は日常の行動の中で育つという良い例だと思います。

—国際ロータリーは長い間、地域貢献をしてきました。特に近年は教育に重点をおいて活動しているとお聞きしますが。

清

地域貢献はロータリーの活動の大きなテーマです。国

際ロータリーは1905年アメリカで誕生。代表のガバナーは1年交代ですが事業は継続されます。2005年までに世界中からボランティアをなくそ

うと、15年前から途上国の子供たちへのボランティア援助をしています。国内のロータリーフィーは世界の学生に奨学金をおくり、日本留学生も援助。日韓中学生交歓会なども開いています。こうした活動を通じて群馬の将来になう子供をさえていくことが大切だと思っています。

地域の人材、発掘を  
学校の情報公開から  
奉仕の体制づくり  
教育にお金と知恵を  
情報を共有して対応

高井  
今井  
清

矢野  
森田

「地域や学校の医療活動に携わっている矢野さんにとって『大人も子供も病んでいるな』とお感じになることがあります」

矢野 私はいま日本学校保健会の会長をしており、文部科学省と協力して心の問題やエイズ、薬物中毒問題などに取り組んでいます。でも、なかなか不登校や少年犯罪は減らない。学校・家庭・地域の連携を含めて、子供の心のケアの体制はまだまだ十分ではありません。引きこもりは全国で30万人と言われており、本県も教育的、医学的対応を兼ねた受け皿のシステムづくりが必要。小寺知事さんも積極的に他県にさきがけた対策がぜひほしい。

「総合学習の時間」が設けられて、座学とあわせて実践や体験学習がすすめられる。本県は小、中学校に学校保健委員会が100ヶ所設置されており、先進県。ロータリアンは学校医150人、歯科医50人、学校薬剤師30人がおり、このマンパワーを総合学習にいかせればと思う。わたしの病院は重症身障者施設で小学生たちが見学に訪れます。身障者の方たちが懸命に生きている姿を見て、子供たちは目を輝かせて帰っていきます。こうした体験はほんとうに貴重だと思います。



国際ロータリー第2840地区  
2002-2003年度ガバナー  
**矢野 亨氏**

やの・とおる 社会福祉法人希望の家理事長。桐生西ロータリークラブ所属。77歳。



国際ロータリー第2840地区  
2003-2004年度ガバナー  
**森田 均氏**

もりた・ひとし 森田均法律事務所長。弁護士。渋川ロータリークラブ所属。55歳。

「少年非行をはじめ、子供の『負の問題』が跡を絶ちません。弁護士のお立場から改善策など意見をお聞かせください」

森田 「青少年の健全育成」は国際ロータリー第2840地区のターゲットで、これをうけて昨年12月に県民会館において「青少年問題を考える」講演会を開きました。県教委や県警そしてPTA連合会の方3人が熱弁をふるい、反響も大きいものがあつたと思っています。職業柄、私は少年非行問題にかかわることが多く、「うちの学校に限つて」という声もよく聞きますが、非行やいじめはどこにでもあります。要は関係者が最初のサイドや非行の芽を見落とさないで、荒れる学校の危険性はどうです。過保護・過干渉な家庭では、子供が社会とのかかわり方を学んで自信を得る場です。過保護・過干渉な家庭では子供は自信をもてず、役割も見いだせないでいる。県教委としては、「これから土曜、日曜の過ごし方を提案していく。青少年キャンプ場やスポーツ施設、図書館、美術館、博物館などの利活用を呼びかけて参りたい。学校・家庭・地域が三位一体となって、全国に誇れる教育立県をめざす。」

おいて「青少年問題を考える」講演会を開きました。県教委や県警そしてPTA連合会の方3人が熱弁をふるい、反響も大きいものがあつたと思っています。職業柄、私は少年非行問題にかかわることが多く、「うちの学校に限つて」という声もよく聞きますが、非行やいじめはどこにでもあります。要は関係者が最初のサイドや非行の芽を見落とさないで、荒れる学校の危険性はどうです。過保護・過干渉な家庭では子供が自信をもてず、役割も見いだせないでいる。県教委としては、「これから土曜、日曜の過ごし方を提案していく。青少年キャンプ場やスポーツ施設、図書館、美術館、博物館などの利活用を呼びかけて参りたい。学校・家庭・地域が三位一体となって、全国に誇れる教育立県をめざす。」

「学校だけに任せておくのではなく、地域や家庭とのかかわりこそが大切だということでしょう」

高井 教育はみんなで考えるものです。戦後50年以上たつて、今まさに転換期。社会づくりの根幹が教育だと思いません。「賢母は100人の教師にも勝る」といわれますが、家庭こそ教育の出発点です。地域は、子供が社会とのかかわり方を学んで自信を得る場です。過保護・過干渉な家庭では子供は自信をもてず、役割も見いだせないでいる。県教委としては、「これから土曜、日曜の過ごし方を提案していく。青少年キャンプ場やスポーツ施設、図書館、美術館、博物館などの利活用を呼びかけて参りたい。学校・家庭・地域が三位一体となって、全国に誇れる教育立県をめざす。」

「これからはもつともっと開かれた学校が求められる。それには積極的な情報公開が必要だと思います」

今井 県教委は民間から任命された人の教育委員と行政経験者で教育行政の執行機関です。学校も同じように、PTAや学校評議員など地域の人たちが深く関わり、その声が生かされることが非常に重要なになっています。ある地域によっては、これまでの学校もつっているものであります。要は関係者が最初のサイドや非行の芽を見落とさないで、荒れる学校の危険性はどうです。過保護・過干渉な家庭では子供が自信をもてず、役割も見いだせないでいる。県教委としては、「これから土曜、日曜の過ごし方を提案していく。青少年キャンプ場やスポーツ施設、図書館、美術館、博物館などの利活用を呼びかけて参りたい。学校・家庭・地域が三位一体となって、全国に誇れる教育立県をめざす。」

清 会員に教育に関するアンケート調査をしました。関心が高いのは、家庭教育はしつけ・道德・父親の権限、学校教育でははじめ、不登校・ゆ

とり、地域教育では少年非行・地域での子育て・PTA活動などでした。「ロータリアンは教育にどうかかわったらいいか」にはPTAや学校開放に参加、専門分野の講師として教壇に立つなどのほか、「教員免許は更新制にすべき」との回答もありました。アメリカのシカゴで公衆トイレを設置したのが国際ロータリーの社会奉仕の原点ですが、群馬は約2500人、埼玉を加えると現在1万人近くロータリアンがいます。この力を結集すれば、かなりのことができると思います。

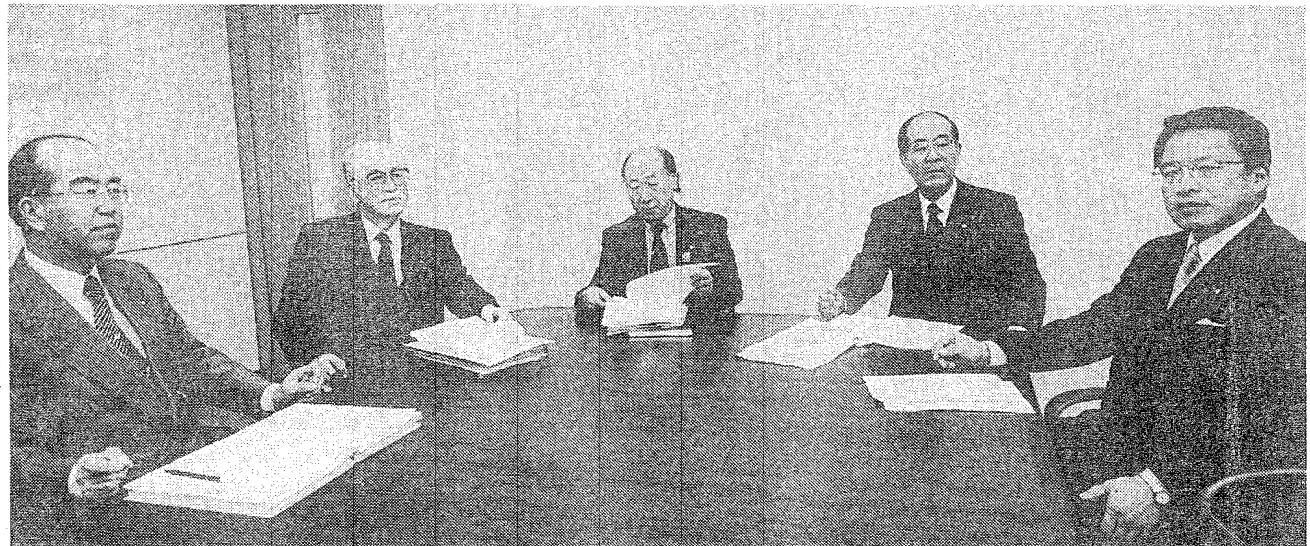
高井 アンケートには開かれたりました。人づてに広がった評判は子供たちの自信にもつながり、児童に立ち直った

「教師もまじえた学校保健委員会が、機能をもつと積極的に活用するのも方法ではあります。要は関係者が最初のサイドや非行の芽を見落とさないで、荒れる学校の危険性はどうです。過保護・過干渉な家庭では子供が自信をもてず、役割も見いだせないでいる。県教委としては、「これから土曜、日曜の過ごし方を提案していく。青少年キャンプ場やスポーツ施設、図書館、美術館、博物館などの利活用を呼びかけて参りたい。学校・家庭・地域が三位一体となって、全国に誇れる教育立県をめざす。」

矢野 その通りです。学校保健委員会は先生や生徒の代表のほか、学校医や歯科医、薬剤師、PTAや地域の代表が参加する文字通り学校・家庭・地域の三者が連携した協議の場です。そこでは、学校だけでは解決できない生活習慣病や性教育も重要課題となります。地域の役割はますます大きくなっています。

森田 その通りです。学校だけでは解決できない生活習慣病や性教育も重要課題となります。地域の役割はますます大きくなっています。

# 「生きる力」持った子供に



熱く意見をかわした出席者

学校と地域との関わりでいえば、明治の人の教育への意気込みは素晴らしい。長岡の米百俵の話もありますが、貧しい村でも一番いい場所に学校をつくり先生を厚遇して地元が一体となって学校を支えた。これからは教育のためにもっとお金も恵み出さなくてはと思います。

—子供だけでなく、大人や先生にもゆとりは必要。大人がしっかりしていないと、その背中を見て育つ子供もきちんとできません。

森田 少年非行には、道徳秩序の崩壊や価値観の多様化情報のはんらんといった大人社会の混乱が投影されています。私がかかわった事例では大人が子供を食いものにしているケースが多く、暴力団や暴走族が子供を引き込んだりするケースも指摘されています。残念なことに子供たちが犯罪に引き込まれ、被害者になる例が跡を絶ちません。

—最後に、それぞれロータリアンとして教育にどうかかわっていますか。

今井 さまざま職業人の集まりであるロータリークラブは、公的貢献を理念としており、国際的な連携も強く、その特徴を教育の場に生かす可能性はとても大きいと思います。



県教育委員長  
**今井 健介氏**

いまい・けんすけ 聖酒造(株)社長。前橋ロータリークラブ所属。47歳。

## 問われる大人の生き方 経験の積み重ねが大切 群馬の子供を支えたい マンパワー総合学習に 見落とすな“非行の芽”

高井 清 森田

森田 渋川ロータリークラブ会長をしていた時「行動するロータリー」を掲げて活動、「青少年問題を考える集い」を開きました。学校と家庭をしてロータリーも含めた地域が三位一体で活動することが必要で、そのためには、たがいに情報を共有して非行の芽を早期につみとることが望ましい。

矢野 ロータリーには数年前から新世代委員会があり、零歳から30歳まで、特に14歳までの世代に積極的にかかわるとしています。「こども奉

生徒がドイツ留学を終え、見学がドイン留学を終え、見違えるようになって帰ってきた例もある。また、主に私立高生を中心とした奉仕活動のインターネット支援などもやっている。日本は英語圏の留学生をなかなか受け入れな

い。日本の英語教育の実情との兼ね合いもあるでしょうが、もっと積極的であつてい。また、イギリスにはギャップイヤーといって、大学合格後に1年間入学を猶予してもらい、世界を見て回つたり奉仕活動をするという制度があるが、日本にとって参考になります。ロータリークラブは宗教、利益、監督官厅と無縁、無色の団体です。「ロータリーアンだからこそ」の気概で、奉仕活動の輪を広げていただけるのではないかと思います。貴重なご意見ありがとうございます。